

コロナ禍の留学

～海外における日本からの入国に関する情報と注意すべきこと～

新学期が始まり、夏休みに留学したいという高校生の声が聞かれるようになりました。高校生という一生に一度の機会にぜひ留学したい、させたいという声は、今年、より一層高まっています。

その一方、令和4年4月25日現在、外務省の海外感染危険情報では、まだ多くの国々への渡航について、レベル2にあたる「不要不急の渡航は止めてください。」という注意勧告がなされています。

海外では、マスク着用が義務付けられていない国や都市もありますが、各国の水際対策や入国後の行動制限が廃止されたわけではありません。最新の情報を常に確認し、留学の計画や準備を行っていきましょう。

下表は、高校生の留学先として人気の国について、入国条件等をまとめたものです。

(令和4年4月25日現在)

渡航・留学先の国	ワクチン接種	出発前のPCR検査	入国後の隔離滞在等
アメリカ	原則必須	必要：出発前1日以内	州により異なる。また、入国後3～5日にPCR検査を受けることを推奨
カナダ	原則必須	不要	入国時ランダムに選ばれた人のみPCR検査あり →結果が出るまでの期間、隔離は不要
イギリス	必須でない	不要	不要
オーストラリア	原則必須	必要：出発前72時間以内	到着後、24時間以内にRAT検査もしくはPCR検査が必要→陰性であれば自主隔離は終了
アイルランド	必須でない	不要	不要
マルタ	必須ではないが未接種者には入国後の自己隔離が必要（自己負担）となるので接種していることが望ましい	【ワクチン接種完了者】不要 (代わりにVeriFLYアプリをダウンロードし、証明書の認証が必要) 【ワクチン未接種者】必要： マルタ到着前72時間以内	ワクチン接種完了者：不要 ワクチン未接種者：入国後14日間の自己隔離が必要
フランス	必須ではない	【ワクチン接種完了者】不要 【ワクチン未接種者】必要： 出発前72時間以内	不要
フィリピン	原則必須	必要：出発前48時間以内	不要（ワクチン接種証明書の提示が必要）
ニュージーランド	原則必須	必要：出発前48時間以内	不要（ワクチン接種証明書の提出が必要） 入国後、指定の日（0/1日目及び5/6日目）に迅速抗原検査を受検する

このように、多くの国で日本からの入国が可能になっている一方で、留学先として人気の都市の一部では、ホームステイ先が不足しているところもあります。また、学生寮なども、陽性者に備えた予備部屋の確保や一部屋あたりのベッド数を調整するなどコロナ対策の影響で年末まで満室というところもあるようです。

また、現在、行き先によっては、日本からの航空便数が大幅に縮小していたり、路線によっては、利用客が少ないと突然運休になったりすることもあります。

そのため、コロナ禍の留学においては、滞在先が急に変更になったり、利用する航空便の時間やルートが変更になったりする場合に備えて、旅行会社や留学エージェント等を通じてよく情報を収集し、平常時以上の心構えをしておく必要があります。

<参考サイト>

外務省海外安全ホームページ

https://www.anzen.mofa.go.jp/covid19/pdfhistory_world.html